

## 産婦人科（生殖医療）

### 1. 概要

世界に先駆けて全受精卵への臨床応用を開始したタイムラプス胚培養も10年目となり、多胎防止を含む生殖補助医療の質的維持を今年も達成できた。国内外の学会での新知見発表には聴衆も多く集まり、若手産婦人科医師や臨床検査技師のモチベーションを高めている。甲木医師が、日本不妊カウンセリング学会で当院4年連続となる優秀賞を受賞した。

2016年は、生殖医療で思うような結果が出ない事の背景としての肥満・痩せへの着目を更に高め、健康な体作りは安全妊娠への必要条件であることの患者向け教育を徹底した。難治性の患者が当院に集中するという理想的な傾向は続いている。このような患者が繰り返し治療を行い、見かけ上の数値を低く抑えているが、他院での不成功例がすんなり成功するなど、スタッフが技術の高さを確認できる機会も多かった。頻回不成功例に肥満や痩せが多いことにも着目し、妊娠分娩の安全性や生涯の健康増進にもつながる健康な体作りを推進できた1年でもあった。

(部長 安藤 寿夫)

### 2. 活動報告

#### (1) 生殖補助医療

2016年	刺激周期数	体外受精数	うち、顕微授精	新鮮胚移植	妊娠	融解胚移植	妊娠
1月	27	22	14	17	1	9	0
2月	20	19	11	11	4	8	3
3月	20	17	11	9	4	6	2
4月	20	20	14	11	1	7	2
5月	29	22	17	15	3	6	4
6月	31	27	18	11	3	4	1
7月	28	26	13	11	1	6	2
8月	28	19	9	7	2	8	2
9月	27	23	16	12	2	4	0
10月	30	28	16	15	6	19	4
11月	22	17	8	9	2	10	3
12月	27	24	15	12	2	9	6
計	309	264	162	140	31	96	29
妊娠率					22.1%		30.2%

多胎は1例（単胚移植後）。異所性妊娠0例。

(2) 不妊症妊娠例（カッコ内は多胎妊娠例）

区分	件数(件)
体外受精 - 新鮮胚移植	30(1)
融解胚移植	27(0)
排卵誘発	8(0)
人工授精	7(0)
習慣流産	1(0)
タイミング法・その他	26(0)
計（重複例を除く）	90(1)

生殖医療の成績データは、症例背景など医療機関により異なる要素が多いことから、他の医療機関との単純な比較をすべきではないと付記することが、米国では義務付けられています。

## 学会発表（医局）

<産婦人科（生殖医療）>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	個別化調節卵巣刺激における子宮内膜症の影響とAMH	筆頭演者	矢吹 淳司	第37回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会	熊本市	2016/1/23
2	分娩後子宮全摘となった当院の胚移植妊娠症例より得られた次の課題	筆頭演者	安藤 寿夫	第136回東海産科婦人科学会	岐阜市	2016/2/14
3	新鮮単胚移植後生児獲得例からみた凍結sibling embryoによる次子獲得予測の臨床的検討	筆頭演者	植草 良輔	第68回日本産科婦人科学会学術講演会	東京都	2016/4/24
4	タイムラプスを用いたIVF由来の1PN胚とICSI由来の1PN胚の検討	筆頭演者	北見 和久	第57回日本卵子学会学術集会	新潟市	2016/5/15
5	子宮筋腫核出術方針決定のための生殖外来事前受診の重要性	筆頭演者	甲木 聡	NPO法人日本不妊カウンセリング学会第15回学術集会	東京都	2016/6/3
6	当院における調節卵巣刺激後に発症した卵巣過剰刺激症候群の1例	筆頭演者	矢吹 淳司	第38回中部生殖医学会学術集会	津市	2016/6/18
7	凍結胚移植による癒着胎盤のリスク因子の検討 単一施設からのデータを用いて	筆頭演者	松尾 聖子	第34回日本受精着床学会総会・学術講演会	軽井沢町	2016/9/15
8	PCOSにおける第一胚分割異常発生の過多は排卵数の過多に起因する	筆頭演者	藤田 啓	第34回日本受精着床学会総会・学術講演会	軽井沢町	2016/9/16
9	胚移植後の妊娠分娩経過が不良であった3症例	筆頭演者	矢吹 淳司	第19回日本IVF学会学術集会	神戸市	2016/10/1
10	当院におけるAMH1.0未満のARTの年齢別の妊娠率や採卵数の検討	筆頭演者	國島 温志	第19回日本IVF学会学術集会	神戸市	2016/10/2
11	PCOSにおける第一胚分割異常発率は排卵数の影響を受ける	筆頭演者	藤田 啓	第61回日本生殖医学会学術講演会・総会	横浜市	2016/11/3 2016/11/4
12	新鮮単胚移植後生児獲得周期における余剰凍結胚を用いた次子獲得予測の臨床的検討	筆頭演者	植草 良輔	第61回日本生殖医学会学術講演会・総会	横浜市	2016/11/3 2016/11/4
13	凍結胚移植による胎盤形成不全 癒着胎盤のリスク因子として	筆頭演者	松尾 聖子	第61回日本生殖医学会学術講演会・総会	横浜市	2016/11/4

## 座長・司会（医局）

<産婦人科（生殖医療）>

No.	座長・司会	演 題 名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	座長	産婦人科遺伝診療の基礎と実践	安藤 寿夫	第2回東海生殖周産期研究会	名古屋市	2016/1/30
2	座長	私はこうする:ART診療実践講座1.ART1.不妊治療と仕事との両立に困難性を抱えるカップルへの支援	安藤 寿夫	第61回日本生殖医学会学術講演会	横浜市	2016/11/3

論文・著書(医局)

<産婦人科(生殖医療)>

No.	題名	区分	氏名	雑誌名
1	早期閉経、早期卵巣不全	筆頭著者	安藤 寿夫	今日の治療指針2016私はこう治療している TODAY'S THERAPY. 2016, p.1301-1302
2	黄体支持療法	筆頭著者	伴野 千尋	不妊・不育治療指針. 2016, p.312-p.317.
3	黄体支持療法	共同著者	安藤 寿夫	不妊・不育治療指針. 2016, p.312-p.318.
4	胚培養	筆頭著者	安藤 寿夫	HORM FRONT GYNECOL. 2016; 23: 219-224.
5	子宮筋腫核出術方針決定における生殖外来事前受診の重要性	筆頭著者	甲木 聡	日不妊カウンセリング会誌. 2016; 15: 153-157.
6	施設紹介 豊橋市民病院総合生殖医療センター	筆頭著者	安藤 寿夫	日不妊カウンセリング会誌. 2016; 15: 165-170.